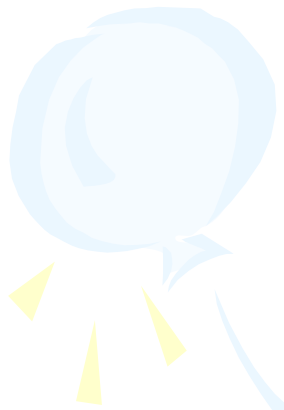




各公園の概要（Bグループ）

1. 服部緑地
2. 山田池公園
3. 寝屋川公園
4. 久宝寺緑地
5. 石川河川公園
6. 大泉緑地
7. 蜻蛉池公園
8. りんくう公園
9. せんなん里海公園









服部緑地



公園のあらまし

【所在地】 豊中市服部緑地

【開設面積】 126.3ヘクタール

【主要施設】 陸上競技場、人工芝サッカー場、テニスコート(18面)、軟式野球場(2面)、スポーツ広場、乗馬センター、プール(ウォーターランド)、円形花壇、バーベキュー広場、児童遊戯場、都市緑化植物園、日本民家集落博物館、野外音楽堂、レストラン 等

【概要】 「日本の都市公園100選」に選ばれ大阪を代表する公園。各種スポーツ施設や文化施設に加え、四季折々の花が咲く植物園を備えた総合公園。全域が「風致地区」に指定。

(特徴)

都市部の広大なみどりの空間として、また多様なスポーツ、文化、レクリエーションの場として、地域の魅力づくりに貢献。都市緑化植物園を核とした地域の活性化、まちのみどりづくりの促進に取り組んでおり、地域の魅力づくりに貢献するとともに、公園利用を促進。





陸上競技場



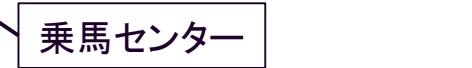
児童遊戯場
(こどもの楽園)



プール
(ウォーターランド)



日本民家集落博物館



乗馬センター



円形花壇



都市緑化植物園

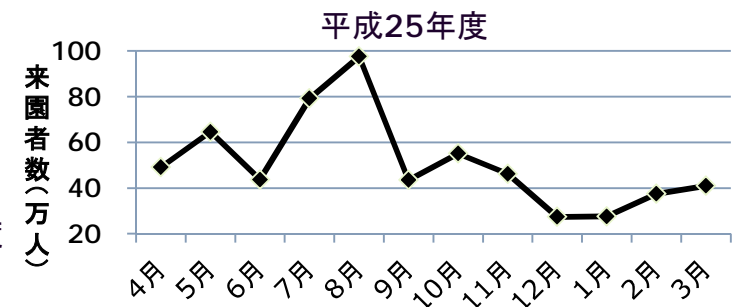
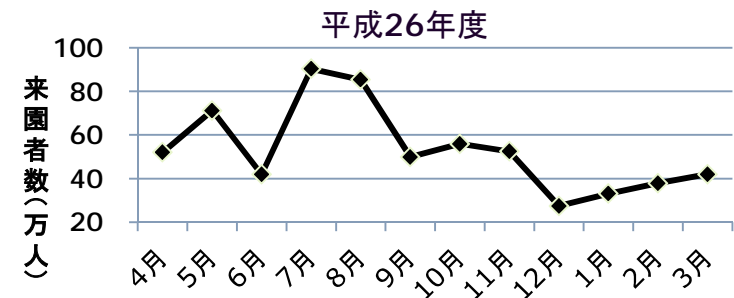
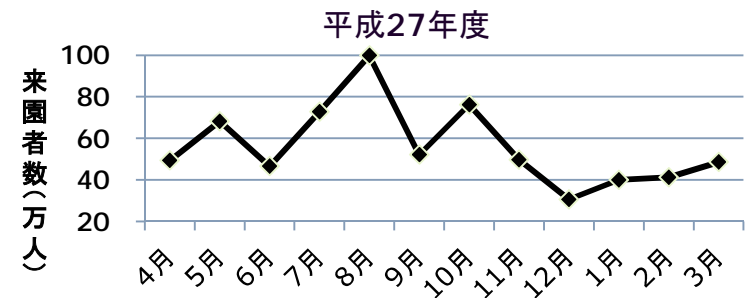
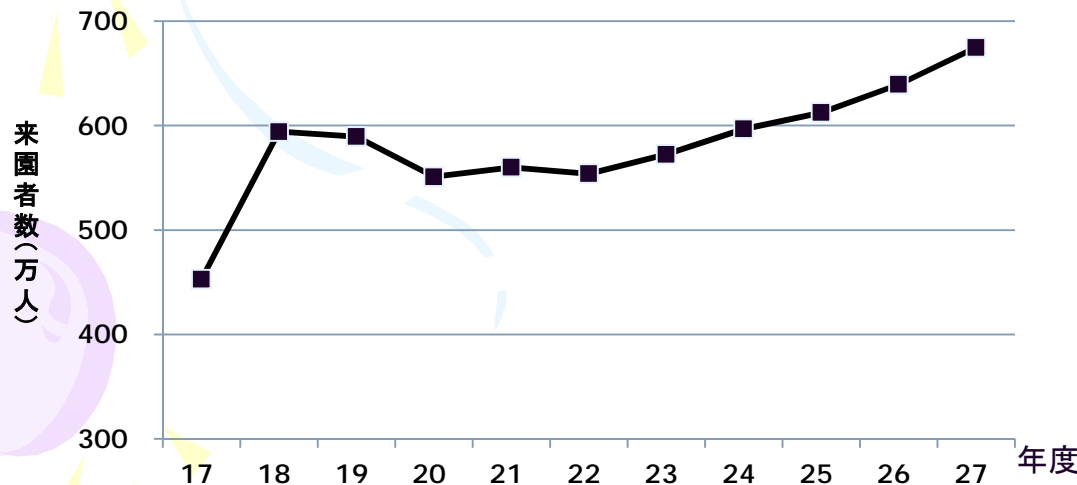
■ 周辺環境、地域特性

大阪都市部から北へ約10km、豊中市(人口約39万人)と吹田市(人口約35万人)の境界部に立地。新御堂筋に隣接し、北大阪急行の緑地公園駅に直結。交通アクセスにも恵まれ、陸上競技場やプール、野外音楽堂などの大規模な施設が立地することから広域から来園。周辺には住宅地が広がっており、特に緑地公園駅周辺には高層住宅が林立。

■ 利用状況

年間約642万人(直近3ヶ年平均)が来園。各施設の利用者に加え、竹林や松林、池などでは野鳥や昆虫の観察に訪れる来訪者も多数見受けられる。

来園者数の推移
(服部緑地)

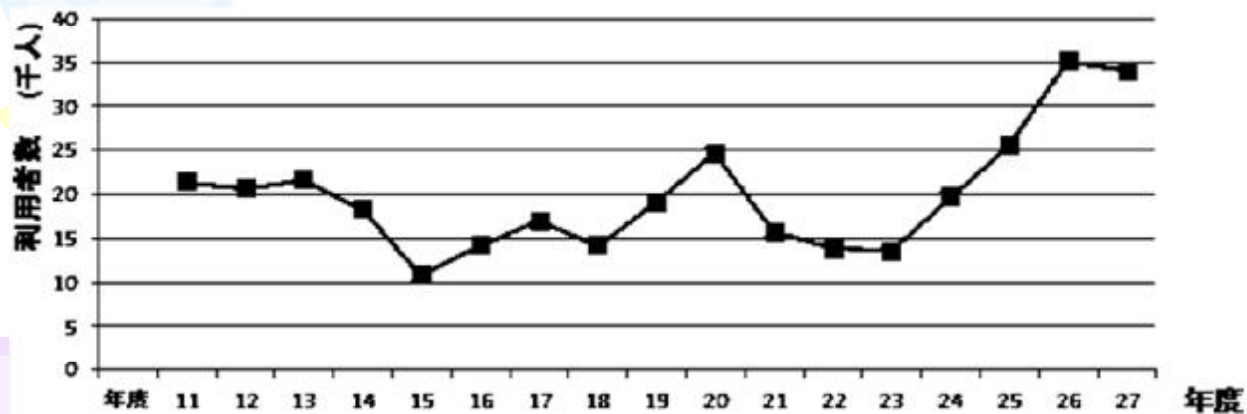


■ 主要施設(1) 都市緑化植物園

◆ 特徴

- 快適で上質なみどり空間として管理され、多くの人がみどりの価値や良さを楽しみながら五感で感じとり、生活に取り入れることで、まちにみどりが浸透していくよう、常に新しい提案を受け入れ続けて暮らしを変えていく動的な植物園。

◆ 参考 都市緑化植物園の来園者数の推移



■ 主要施設(2) ウォーターランド

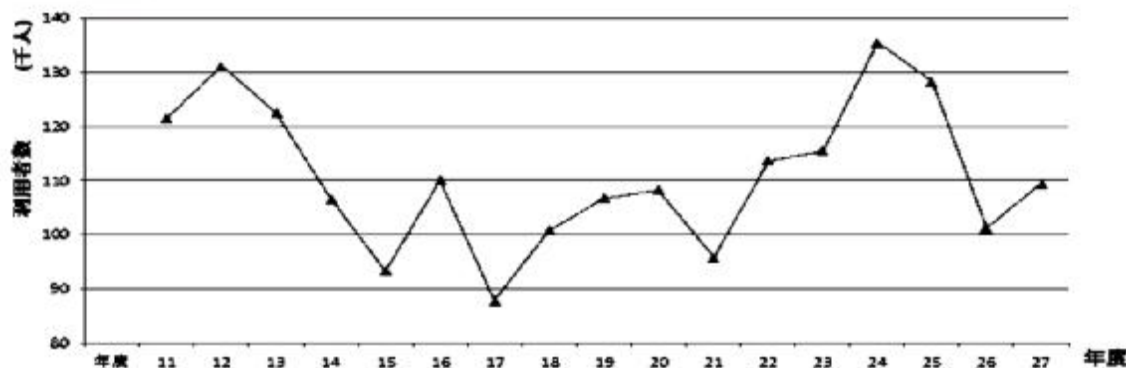
◆特徴

○緑の芝生と松林の中でくつろげるリゾート風のプール

⇒年間約11万人(直近3ヶ年平均)が利用する人気のプール。場内には、滝・流れのほか、多くの木々が植えられ、緑の中で水遊びが楽しめる。



◆参考 ウォーターランドの来園者数の推移



■ 主要施設(3) 円形花壇

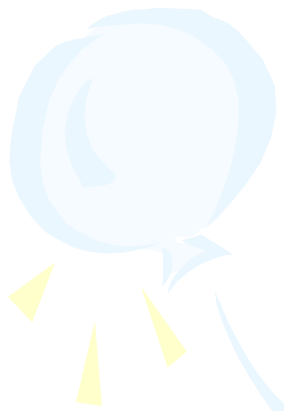
◆特徴

○直径約170mの大円形花壇

⇒昭和34年に皇太子殿下御成婚記念事業として整備された服部緑地のシンボルとなる施設。バラ園や噴水花壇など季節の花が楽しめる。









山田池公園



公園のあらまし

【所在地】 枚方市山田池公園1-1

【開設面積】 71.9ヘクタール

【主要施設】

山田池、水生花園(花しょうぶ園、あじさい園)、水辺広場、花木園、もみじ谷、四季彩花壇、実りの里、クィーンズランドガーデン、バーベキュー広場、芝生の丘・芝生広場、美月橋、パークセンター、管理事務所、駐車場

【概要】

本公園は枚方市の中央部に位置し、歴史のある山田池を中心に自然を活かした公園。

北地区は花しょうぶ園やもみじ谷など和を基調に季節の彩りを感じるエリア。

南地区は芝生広場やクィーンズランドガーデンなどのびやかな洋風のイメージの中でレクリエーションが楽しめるエリア。

(特徴)

山田池公園パークサポーターの育成やパークセンターの運営など、府民がボランティアとして公園管理に参画しやすい環境づくり。



■ 主な施設



山田池



パークセンター



クィーンズランドガーデン



山田池公園
71.9ha



水生花園



もみじ谷



芝生の丘・芝生広場

■ 周辺環境、地域特性

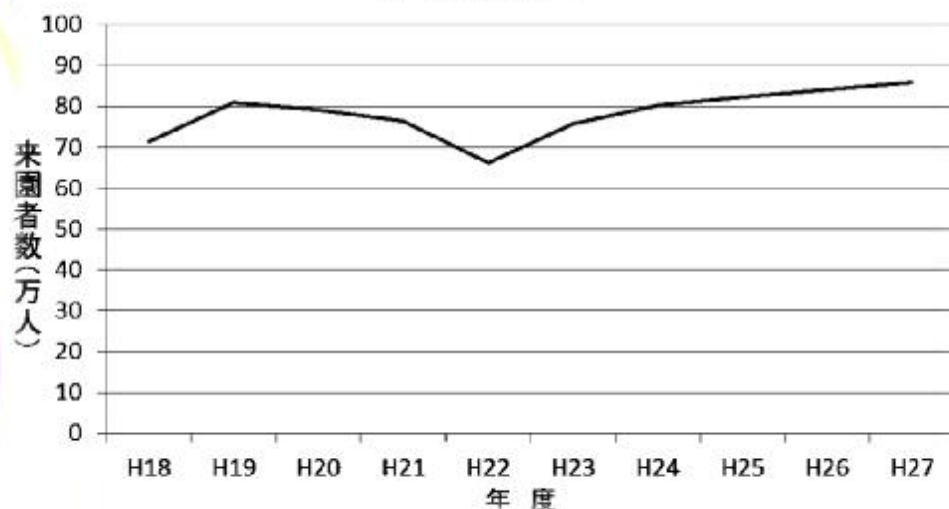
枚方市の中央部、住宅地と田畑が点在する郊外地に位置し、市道杉渚線により南北に分かれている。

アクセスは国道1号線や第2京阪道などから近くマイカー利用が中心。

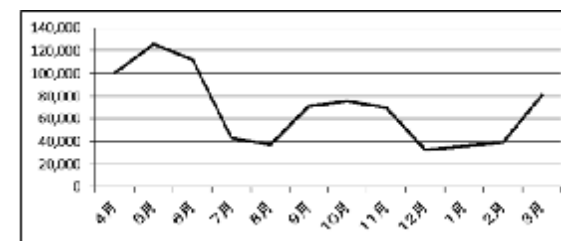
■ 利用状況

年間約87万人(直近3ヶ年平均)が来園。サクラやハナショウブ、もみじなど季節感を求め春と秋の利用が中心だが、園内の散策利用など年間を通じた利用も多い。

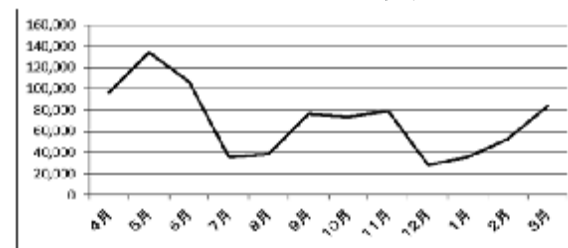
来園者数の推移
(山田池公園)



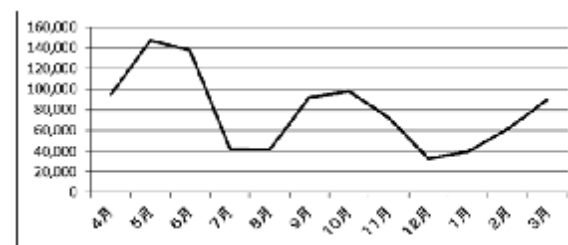
平成25年度



平成26年度



平成27年度



■ 主要施設(1) 北地区

◆ 特徴

- 水生花園(花しょうぶ園、あじさい園)やもみじ谷など和のイメージを基調に季節の彩りを感じるエリア。

u 山田池

- 枚方八景のひとつに数えられる山田池(10ヘクタール)はおよそ1,200年前の築造といわれ、周辺の樹林を含め豊かな自然環境の中で多くの野鳥が生息

u 水生花園(花しょうぶ園、あじさい園)

- 約130種8,000株の花しょうぶ園と小高い丘の斜面を利用したあじさい園(1,500株)は本公園の人気スポット

u 花木園

- ウメやスモモ、ヤマザクラなど750本の花木を配植

u もみじ谷

- 流れに沿った谷に約30種1,000本の紅葉樹が点在



■ 主要施設(2) 南地区

◆ 特徴

- 芝生広場やクィーンズランドガーデンなどのびやかな洋風のイメージの中でレクリエーションが楽しめるエリア

u 芝生の丘・芝生広場

- 10ヘクタールを超える広々とした空間で、丘の頂上からは北河内の山並みをはじめ360°の展望

u クィーンズランドガーデン

- ユーカリ、ブラシノキなどオーストラリアの珍しい植物が植えられた洋風の美しい庭園

u 美月橋

- 橋長138mの人道用の斜張橋でビューポイント

u パークセンター

- ボランティアの活動拠点及び情報発信の基地









寢屋川公園



公園のあらまし

【所在地】 寝屋川市寝屋川公園1707番地

【開設面積】 32.3ヘクタール

【主要施設】

陸上競技場、野球場(2面)、テニスコート(15面)、ソフトボール広場、中央広場、芝生広場、五月映えの丘、ふれあいの丘、花のテラス、花の道、竹の小径、トリムコース、寝屋古墳、鉢かつぎ姫の碑、管理事務所、駐車場

【概要】

陸上競技場、野球場、テニスコートなど、緑豊かな環境の中でスポーツが楽しめる公園。

また、園内には寝屋古墳や御伽草子「鉢かつぎ姫」の碑など歴史資産に加え、芝生広場や中央広場(噴水)、トリムコースなど多様なレクリエーション需要に対応。

(特徴)

地元市、周辺施設(病院、学校等)、大学等で構成する寝屋川公園地域連絡協議会を通じイベント等での連携を強化。



■ 主な施設



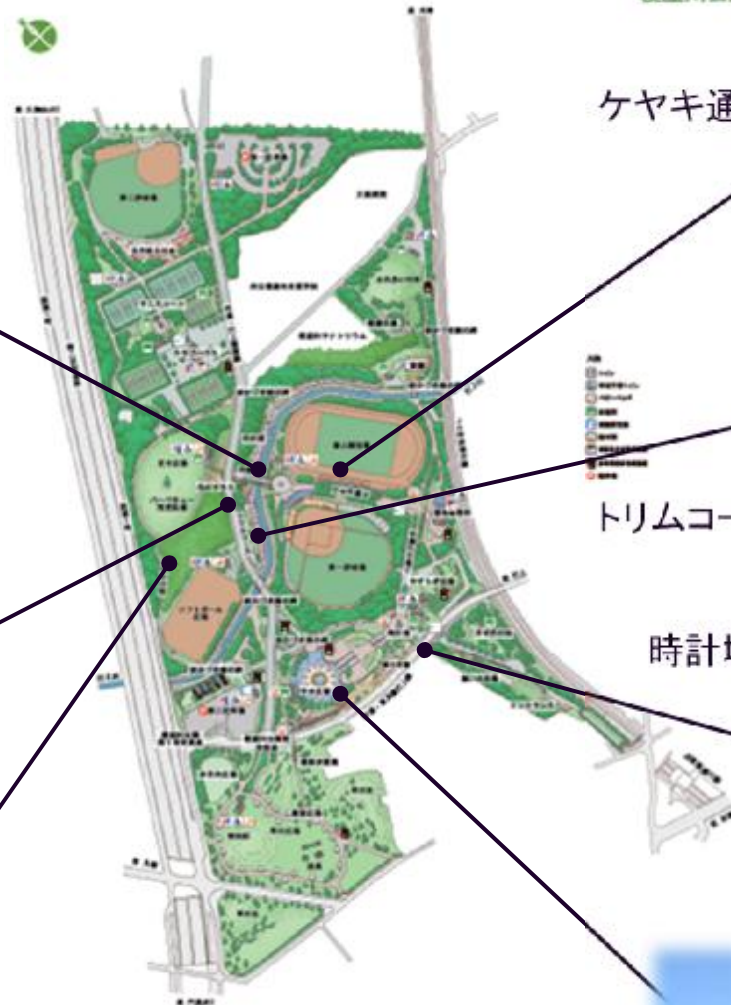
花の道



月観橋



竹の小径



寝屋川公園
32.3ha

ケヤキ通り



トリムコース



時計塔



中央広場



■ 周辺環境、地域特性

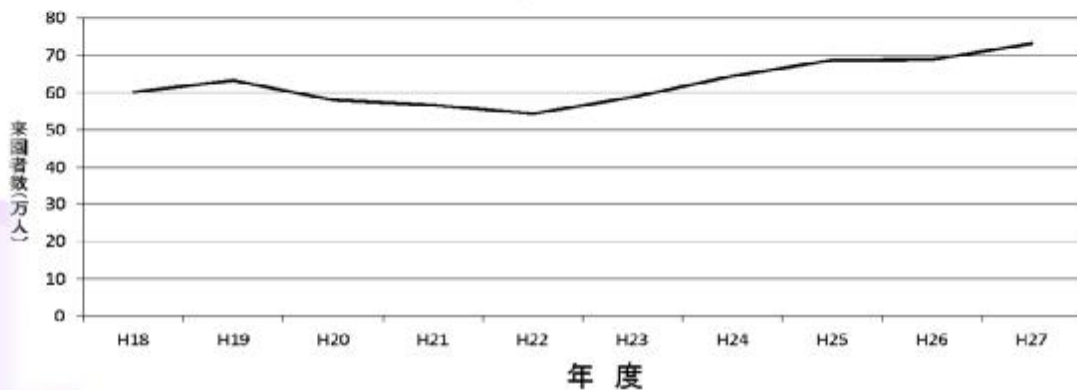
寝屋川市の東部、交野市との境界に位置し、市道で3つのエリアに画され、また園内には打上川が流れており変化を与えている。

第2京阪道に隣接しており、またJR東寝屋川駅からのアクセスも良好。

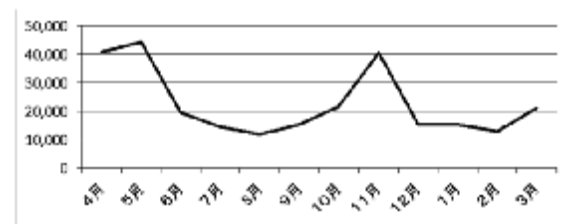
■ 利用状況

年間約70万人(直近3ヶ年平均)が来園。秋に地元市が主催する寝屋川ハーフマラソンの会場として定着。

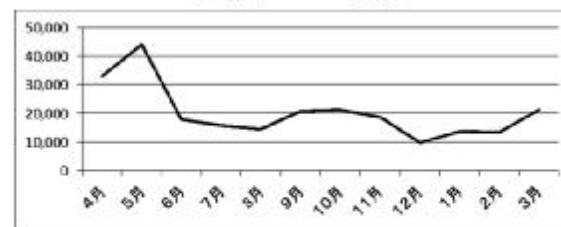
来園者数の推移
(寝屋川公園)



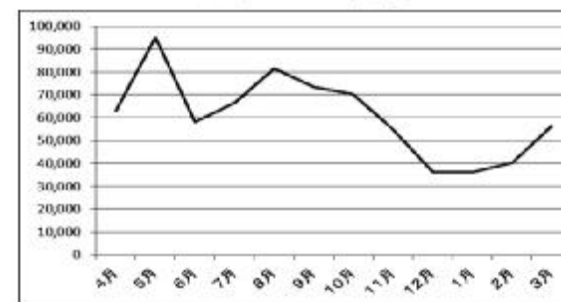
平成25年度



平成26年度



平成27年度



■ 主要施設(1) 運動施設

◆特徴

- 生駒山系に連なる丘陵地帯の豊かな緑と起伏に富んだ地形の中に運動施設を配置

U陸上競技場

- 7コースの400mトラックがあり、陸上競技、サッカー等に使用

U野球場

- 第1、第2の2面(第1はスタンド、スコアボードがあり甲子園球場とほぼ同規模)

Uテニスコート

- 全天候型砂入り人工芝コート15面、クラブハウスを備え大会利用にも対応

Uソフトボール広場

- ソフトボール場が2面確保でき、グランドゴルフやキックベースにも活用



■ 主要施設(2) レクリエーション施設

◆特徴

- 歴史文化資産の活用及び多様なレクリエーション需要への対応

U寝屋古墳

- 古墳時代後期の築造(地域の豪族を埋葬)と推定され、北河内地域最大の規模

U鉢かつぎ姫の碑

- 御伽草子「鉢かつぎ姫」の石造、案内板

U芝生広場

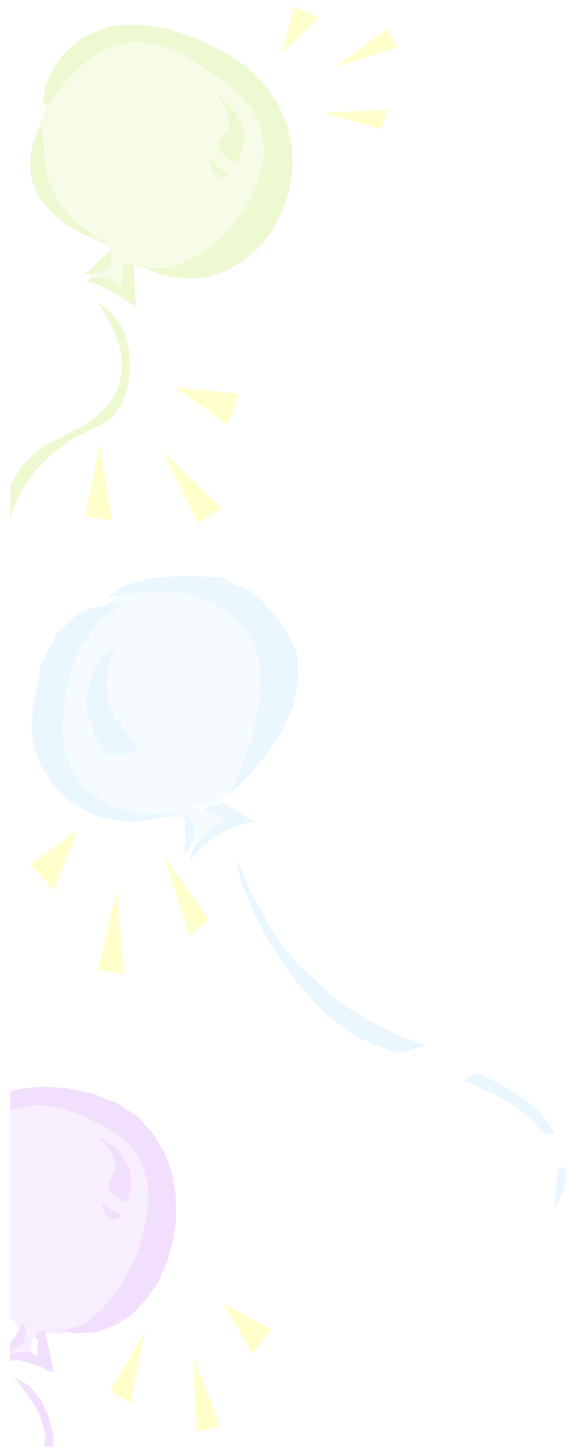
- 緑に囲まれた芝生地でバーベキューも可能なエリア

U中央広場

- 地面から直接吹き出る直径20mの大噴水は人気があり公園のシンボル









久宝寺緑地



公園のあらまし

【所在地】 八尾市西久宝寺323

【開設面積】 38.4ヘクタール

【主要施設】 プール(4面)、野球場、軟式野球場、陸上競技場、テニスコート(8面)、スポーツハウス、芝生広場、花の広場、健康広場、風の広場、水辺広場、ファミリー広場、児童遊戯場(もくもく元気広場、まいまい広場、よちよちランド)、修景広場、中央広場、子供広場、シャクヤク園

【概要】 本緑地は、大阪市、東大阪市、八尾市にまたがる大規模公園で、昭和16年に服部、大泉、鶴見の各緑地とともに大阪都市計画緑地として計画決定された大阪四大緑地の一つ。

(特徴)

大阪府の東部地域に比較的少ないプール、野球場、陸上競技場など多くの府民が利用できるスポーツ施設を中心に、樹林地、芝生広場、シャクヤク園、遊戯場などのレクリエーション機能を備えている。また、災害時の防災公園として、広域避難場所、後方支援活動拠点としての機能拡充を図っている。



■ 主な施設



水辺広場 (H29年春開設)



シャクヤク園



野球場



児童遊戯場



プール



陸上競技場

■ 周辺環境、地域特性

大阪市、東大阪市、八尾市の3市にまたがる広域公園。

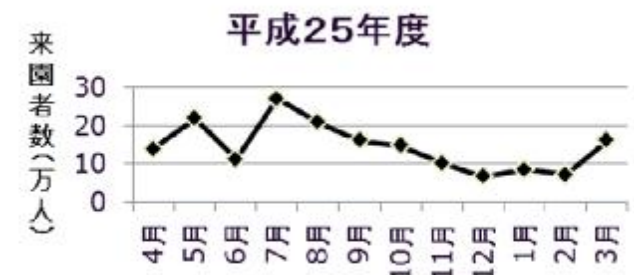
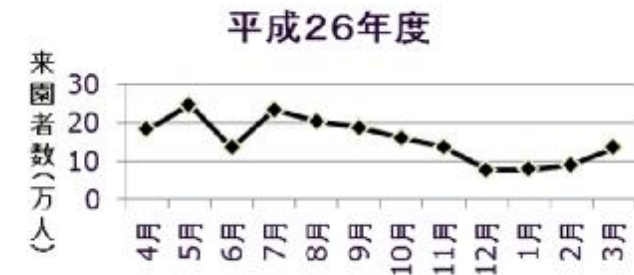
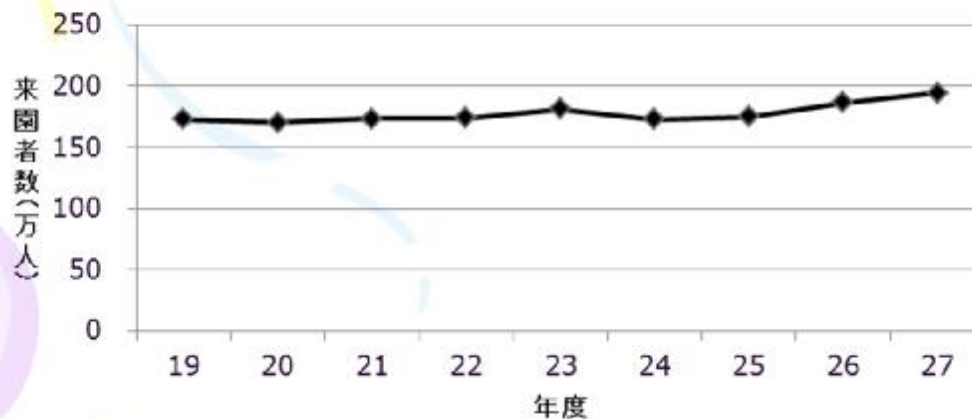
大幹線道路である大阪中央環状線に隣接し、近鉄大阪線の久宝寺口、JR関西本線の加美もしくは久宝寺の各駅から約1.2kmと交通アクセスに恵まれた立地。

■ 利用状況

年間約185万人(直近3カ年平均)が来園。スポーツ施設などの利用に加え、バーベキューなどのレクリエーション活動の利用も多い。

春秋の行楽シーズンだけでなく、年間通じて安定した利用がある。

来園者数の推移
(久宝寺緑地)



■ 主要施設(1) シャクヤク園

◆特徴

- シャクヤク園は、平成2年に開催された「国際花と緑の博覧会協会」より寄付を受けたシャクヤクを展示栽培する施設として整備。平成4年に開園した。
- 2,300㎡の敷地に、45種、約2,000株が植えられ、特に門外不出と言われている肥後シャクヤクが展示栽培されるなど、全国的にも特色ある施設となっている。



貴重な肥後シャクヤクを展示



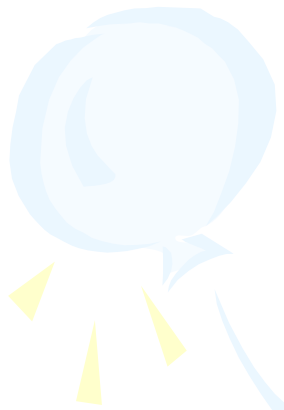
日中の開園と併せて、夜間のライトアップによる展示も行うなど、来園者が楽しめる取組みを実施。

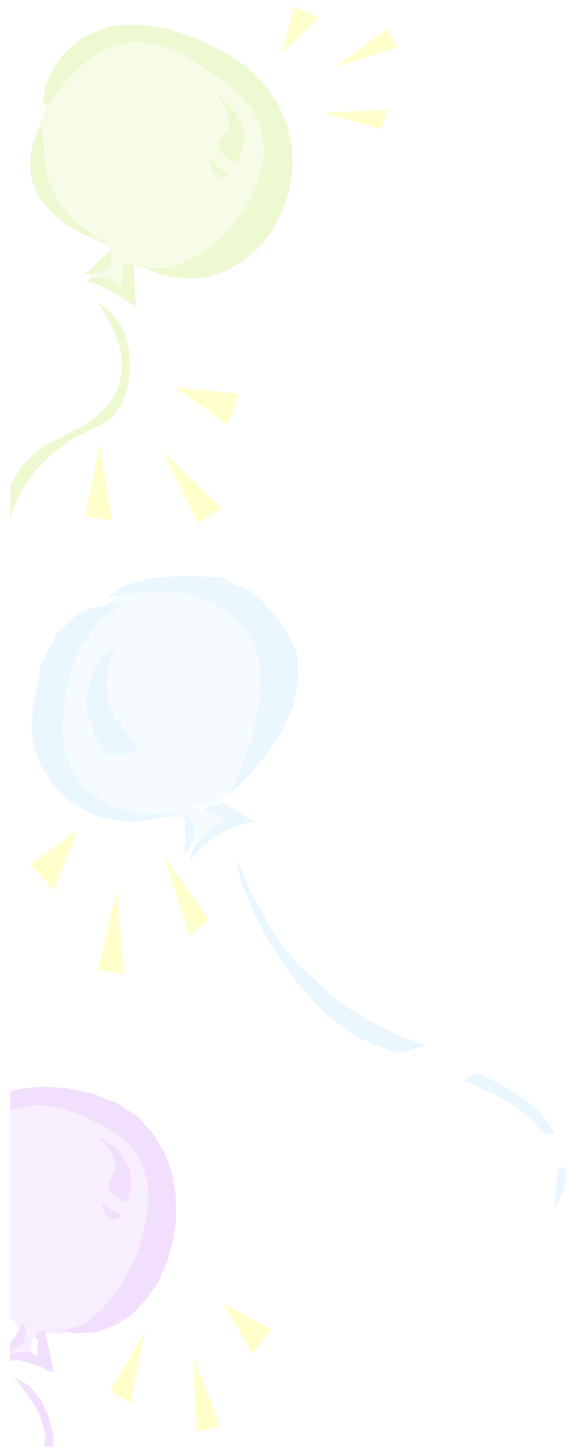
■ 主要施設(2) 野球場

◆ 特徴

- 久宝寺緑地周辺は、過去に近鉄バッファローズの練習場があるなど、野球の盛んな地域である。本球場においても、少年野球などの主要な大会で利用されると共に、高校野球の予選会場にも利用されるなど、多くの府民に活用されている。









石川河川公園



公園のあらまし

【所在地】 羽曳野市駒ヶ谷ほか

【開設面積】 73.7ヘクタール

【主要施設】

パークゴルフ場、玉手橋であいの岸边、星の広場、あすか花回廊、西行うたのみち、自然ゾーン、芝生広場、あすか野草広場、玉手橋つどいの広場、あすか歴史の里、野草広場、千早つどいの広場、千早花街道、古市スポーツ広場、駒ヶ谷地区、公園事務所、駐車場

【概要】

本公園は、金剛山系と泉北の丘陵地に挟まれた南河内エリアを流れる一級河川石川の河川敷を利用した長さ11.6kmの細長い公園。

草花の鑑賞、バードウォッチング、ジョギング、サイクリング、自然観察など、それぞれのエリアで川の流れるを感じながら、心地よいひとときを過ごせる公園。

(特徴)

平成17年より『石川河川公園自然ゾーン計画・運営協議会』を学識経験者、地域住民を交えて開催し、石川の自然を次世代に残していくために、さまざまな検討を実施。



■ 主な施設

石川河川公園
73.7ha



玉手橋であいの岸辺



星の広場



あすか花回廊



自然ゾーン



駒ヶ谷地区



千早つどいの広場



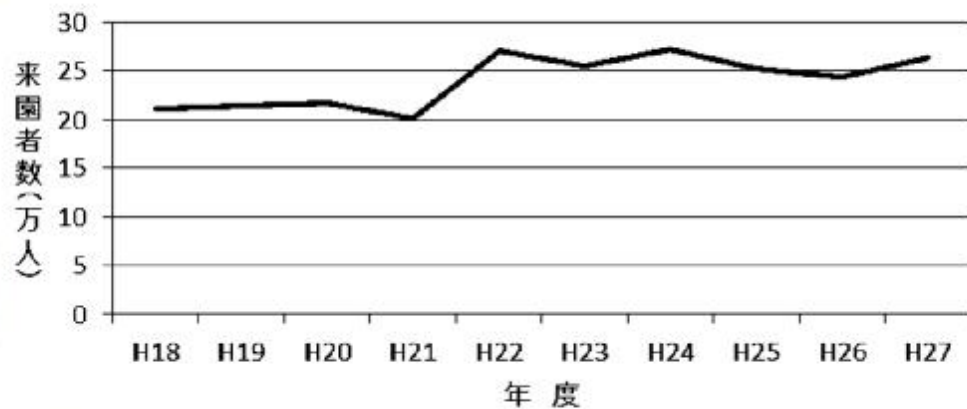
■ 周辺環境、地域特性

1級河川石川の河川敷を利用した公園で、4市1町にまたがり、11.6kmの延長をもつ。周辺は住宅地、工場、田畑など多岐にわたる。公共交通アクセスは、近鉄南大阪線道明寺駅、古市駅、駒ヶ谷駅、喜志駅、富田林駅から。

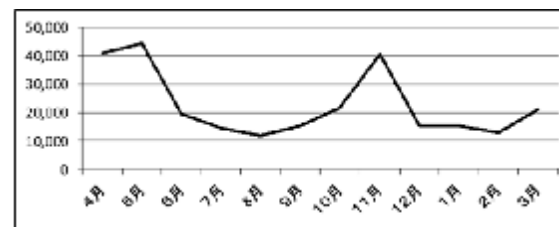
■ 利用状況

駒ヶ谷地区を中心に年間約25万人(直近3ヶ年平均)の方が来園。普段はウォーキングを中心に利用され、春は堤防沿いの桜を求めて数多くの方が訪れる。

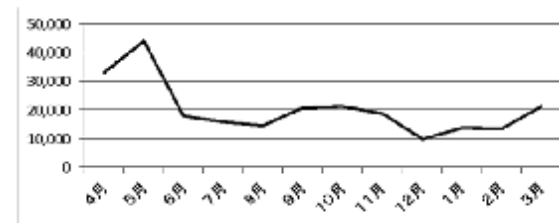
来場者数の推移
(石川河川公園)



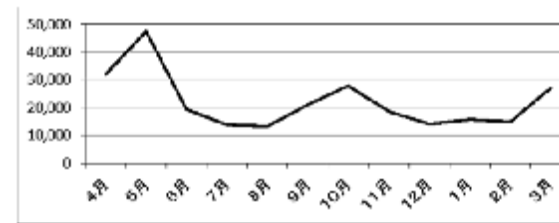
平成25年度



平成26年度



平成27年度



■ 主要施設(1) 駒ヶ谷地区

◆特徴

- 石川河川公園唯一の堤内地に整備された地区で、遊戯広場とバーベキュー可能な芝生広場を有する。石川河川公園で最も利用者が多く、年間利用者の約35%が利用。また、広域避難場所にも指定され、防災公園としての機能をもつ。隣接する羽曳野市立駒ヶ谷西側公園と連携したイベントも開催されている。

◆遊戯施設 (11種13基)

◆芝生広場

◆防災施設

- ・放送設備
- ・防災トイレ
- ・自家用発電機

◆管理事務所



■ 主要施設(2) パークゴルフ場

◆特徴

- 駒ヶ谷地区に隣接する古市スポーツ広場地区内の有料パークゴルフ場

◆ホール数 : 18ホール

(Aコース9ホール、Bコース9ホール)

Aコース356メートル・Bコース371メートル



■ 主要施設(3) あすか花回廊

◆特徴

- 「南河内の自然、歴史、風土に根差した総合的な水辺環境の創造」を基本整備方針とした「石川あすかプラン」で「歴史とふれあい遊ぶゾーン」に位置付けられ、当公園でも早期に開設されたエリアの一つ。

◆花壇

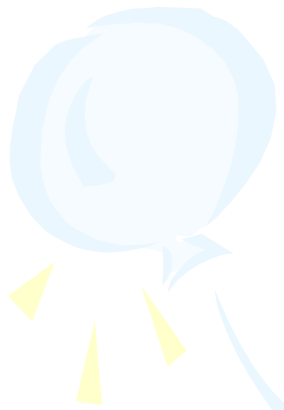
- ・飛鳥時代をテーマに田園的な風景を表現。カワラナデシコやハギなどの秋の七草を中心に、万葉の時代から日本人に親しまれてきた草木や、ヤマモモ、ソヨゴ、アセビなどの花木を植栽。

◆遊戯施設(砂場の水族館)

- ・砂場に魚の遊具を配置









大泉緑地



公園のあらまし

【所在地】 堺市北区金岡町

【開設面積】 101.5ヘクタール

【主要施設】 中央芝生広場、桜広場、野外炉、中央花壇、かきつばた園、ふれあいの庭、緑道、中央休憩所、スポーツハウス、児童遊戯場(わんぱくランド、海遊ランド、冒険ランド)、テニスコート(14面)、野球場、球技広場、スポーツ広場、サイクルどろんこ広場、花と緑の相談所

【概要】 緑の少ない大都市の中心部に森をつくる「森林公園」として計画。近隣住民のみならず、広大な自然の中でのレクリエーション活動を求める人々が広く府域から多数来園。植栽樹木は約230種、34万本にも上り、四季を通じて花と緑が美しい緑地。

(特徴) 都市的環境の中に創造される都市林として、身近な自然との対話と交流を介した市民的レクリエーションの場となる快適な森づくりを目指す。わが国で初めてユニバーサルデザインをコンセプトとした「ふれあいの庭」を整備。



大泉緑地

市街地に広大な森林をつくる公園

■ 主な施設



大芝生広場



児童遊戯場



樹のみち



ふれあいの庭



かきつばた園



サイクルどろんこ広場

■ 周辺環境、地域特性

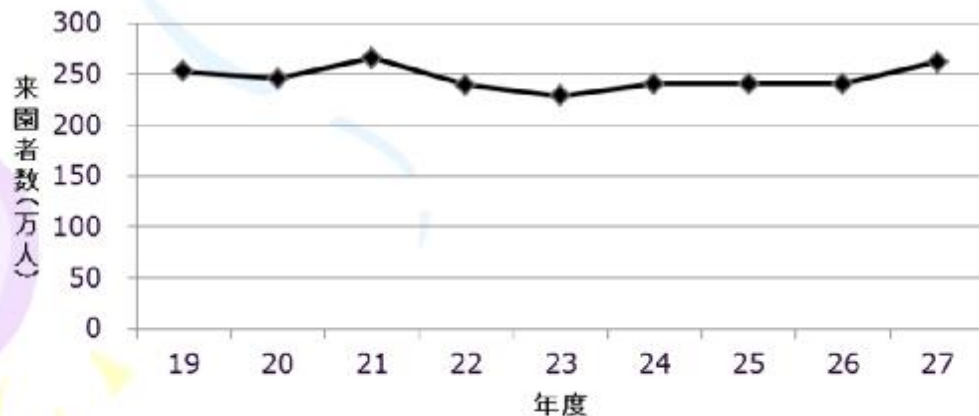
堺市の北東部・松原市の南西部に位置し、両市にまたがる広域緑地。
大幹線道路である大阪中央環状線に隣接し、地下鉄御堂筋線の新金岡駅から緑道を歩いて約15分と、交通アクセスに恵まれた立地。

■ 利用状況

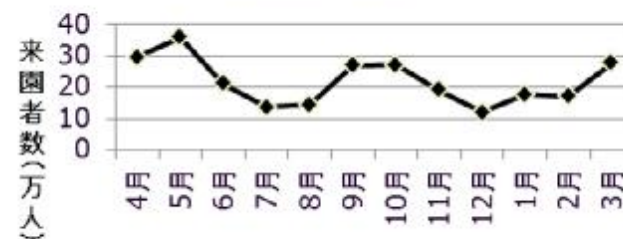
年間約248万人（直近3カ年平均）が来園。各公園施設利用者に加え、森林や池をフィールドとした野鳥観察など、自然とのふれあいを目的とした来園者も多い。

春秋の行楽シーズンだけでなく、年間通じて安定した利用がある。

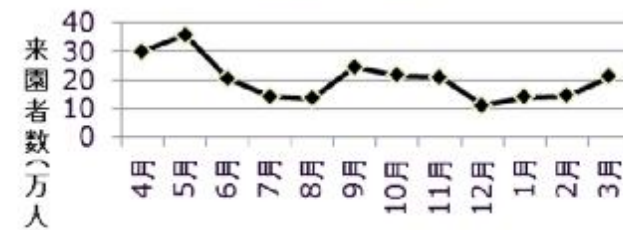
来園者数の推移
(大泉緑地)



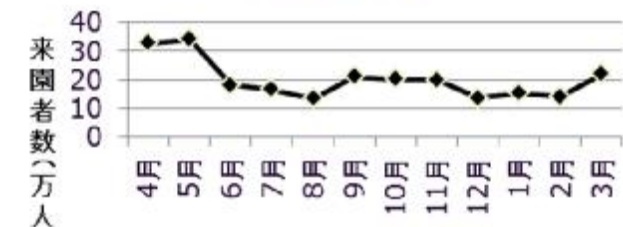
平成27年度



平成26年度



平成25年度



■ 主要施設(1) 樹林地(都市林)

◆ 特徴

- 昭和40年代から、本格的な造成事業を開始。緑の少ない都市環境にあって、四季の変化を植栽によってあらわす、緑あふれる自然豊かな公園。
- 植栽樹木は、約230種34万本に上り、市街地の広大な森林へと成長。



造成前



現況

■ 主要施設(2) かきつばた園

◆ 特徴

- かきつばた園は、府営公園の花の名所づくりの一つとして整備された施設であり、昭和61年に開園した。
- 日本の古典園芸植物である約1万株のカキツバタを中心とした水辺の風景庭園という、全国的にも特色ある施設。



カキツバタ等古典園芸植物展示



■ 主要施設(3) ふれあいの庭

◆特徴

○ふれあいの庭は、美しい四季の草花がいつでも見られ、より身近に植物とふれあうことで、障がい者も、お年寄りも、子供も大人もあらゆる人が五感(見る、聴く、触る、嗅ぐ、味わう)を通じて草花の色彩や香り、水の音や感触等を楽しむことができるようデザインされた庭園。

○一年を通じて花と緑を楽しむことができ、ユニバーサルデザインを取り入れた空間として整備。







蜻蛉池公園



公園のあらまし

【所在地】 岸和田市三ヶ山町701番地

【開設面積】 57.6ヘクタール

【主要施設】 バラ園、あじさい園、花木園、水仙郷、水と緑の音楽広場、大芝生広場、子供の国(トンボの遊具、チョウの遊具、大すべり台)、センターコート(2面)テニスコート(14面)、球技広場、駐車場

【概要】 「花と水とスポーツ」をテーマにした「広場ゾーン」では、「テニス村」や大型複合遊具がある「子供の国」、四季それぞれに花が楽しめる「バラ園、あじさい園、花木園、水仙郷」などがあり、景観を楽しむ「丘陵ゾーン」では、既存の樹林を生かした「ふれあいの森」や「大芝生広場」などを整備。

(特徴)

都市周辺の自然環境を保全する重要な水と緑のオープンスペースとしてつくられた、泉南地域を代表する広域公園の一つ。



■ 主な施設



ふれあいの森



テニス村



バラ園



大芝生広場



子供の国



あじさい園



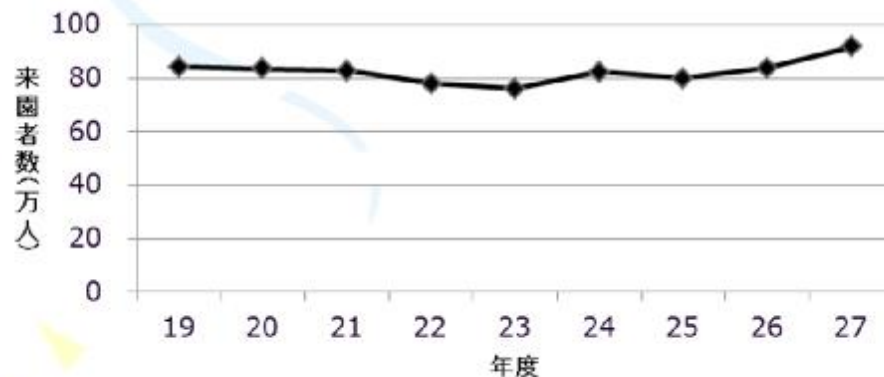
■ 周辺環境、地域特性

大阪都心から南へ約30km、多くの利用者が車で来園する。周囲は、和泉山脈の前山である神於山に連なる丘陵地であり、周辺の農地では桃やみかんといった果樹が栽培されている。

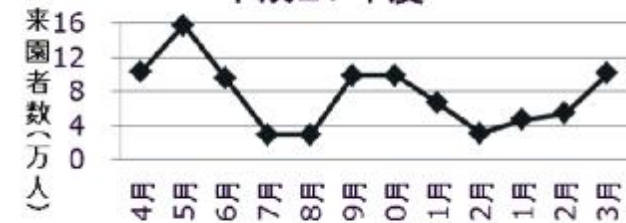
■ 利用状況

年間約85万人(直近3ヶ年平均)が来園。各公園施設利用者に加え、大型複合遊具や自然とのふれあいを目的とした来園者も多く訪れる。春秋の行楽シーズンは、遠足などの団体利用も多く、多種多様なレクリエーション活動を満喫できる公園として、年間通じて利用されている。

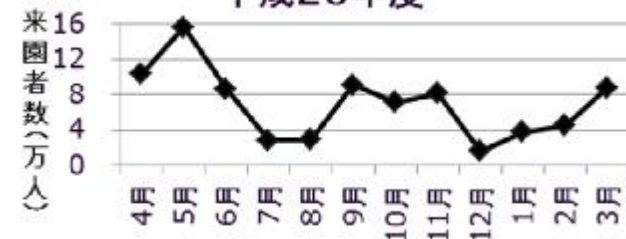
来園者数の推移
(蜻蛉池公園)



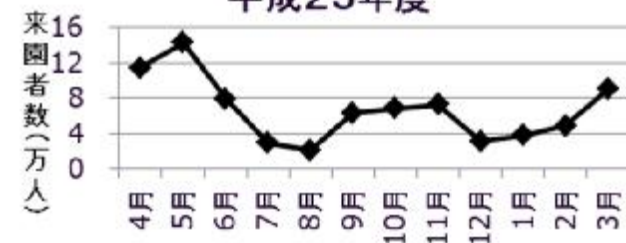
平成27年度



平成26年度



平成25年度



■ 主要施設(1) バラ園

◆ 特徴

- バラ園から水と緑の音楽広場の回廊、大池を一体的に眺めることができる広がりのある景観整備された施設である。
- バラ類 67種、約3,000株。



バラ園

回廊



■ 主要施設(2) あじさい園

◆ 特徴

- 正面入り口部は開放感あるあじさい庭園風景を成し、奥に進むにつれて谷地形を生かした風情あるあじさい風景を形成している。
- あじさい 46種、約15,000株。



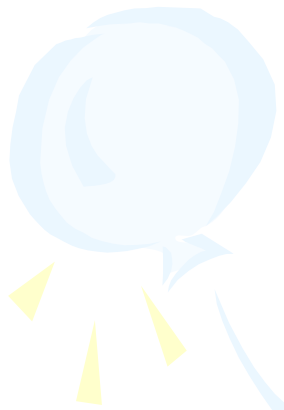
あじさいの園



あじさいの小径



あじさいの谷







りんくう公園



公園のあらまし

【所在地】 泉佐野市りんくう往来北1番

【開設面積】 19.1ヘクタール

【主要施設】 四季の泉、太鼓橋、花海道、総合休憩所、駐車場 等

【概要】 関西国際空港の対岸に位置し、世界に開かれた空港の玄関口にある公園として整備。比較的新しい公園として、設計コンセプトには「ユニバーサルデザイン」が取り入れられている。

公園のシンボリックな「太鼓橋」、夕日の鑑賞スポットになっている「四季の泉」、外海と通じ干満の変化を見せる「内海」、四季折々の花が楽しめる「花海道」などが整備されている。

(特徴) 国際都市大阪の玄関口にふさわしい、四季の花や景観が楽しめる広域公園。



■ 主な施設

内海

四季の泉

シンボル緑地

風玉の階段

四季の泉

花海道

総合休憩所

石舞台

大駐車場

夕日の見える丘

管理事務所

第2駐車場 (高架下)

海への道

シーサイド緑地

マーブルビーチ

第1駐車場

海の手通り花壇

秋の体館所

社倉

南の花壇所

野原

北の花壇所

東佐野岩出緑

白砂青松

海への道

■ 周辺環境、地域特性

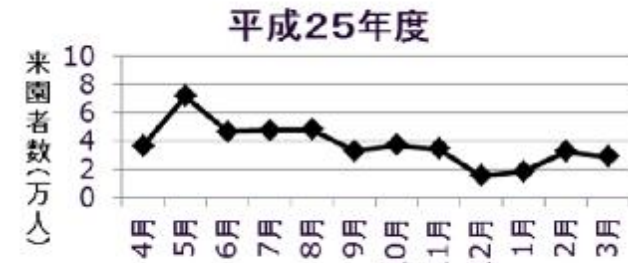
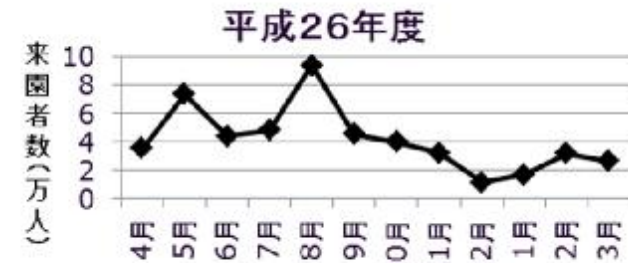
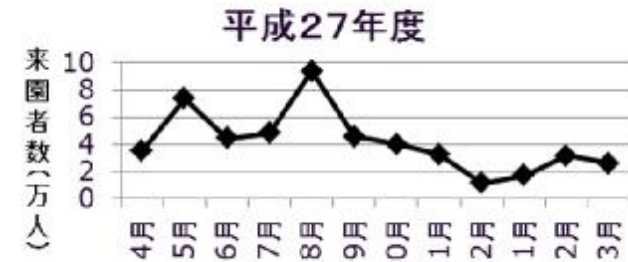
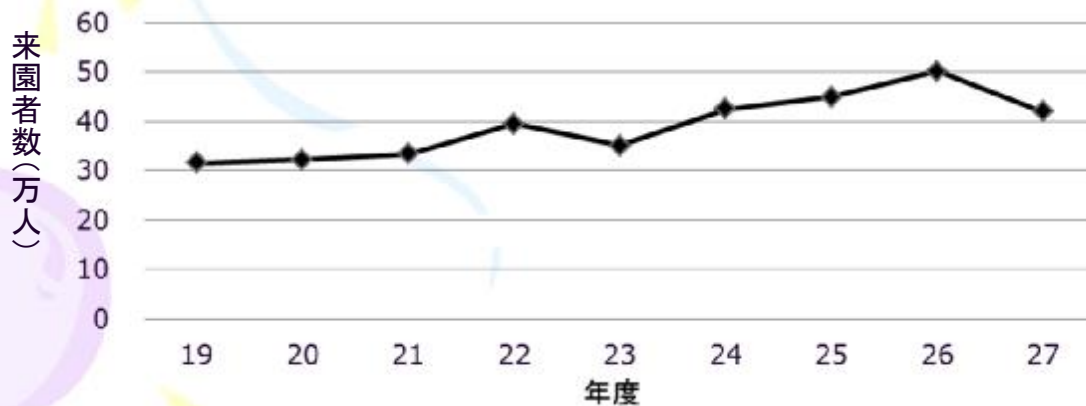
関西国際空港対岸のりんくうタウンに位置する公園。周辺にはアウトレットモールなどの集客施設もあり、外国人の利用もある。関西国際空港を望むロケーションが素晴らしく、夕日の撮影スポットにもなっている。

■ 利用状況

年間約46万人(直近3ヶ年平均)が来園。コンサートやマラソン大会等が開催されるなど、年間を通じて利用されている。

また、海と空の風景や内海観察など、日常的にも親しまれている。

来園者数の推移
(りんくう公園)



■ 主要施設(1) 花海道

◆ 特徴

- 歩きながら四季の花や景観が楽しめる「花海道」は、海の景観を遠景に岩の間に植栽された草花を楽しむロックガーデン的自然風ガーデンとして、岩、樹木、草花をバランスよく配置し、全体景観への相乗効果をもたらす演出をしている。



■ 主要施設(2) 松林(白砂青松)

◆ 特徴

- 白砂青松をイメージした松林と白い玉石の「マーブルビーチ」があり、園路沿いには、日本古来の杜島や荒磯などを表した小さな庭が5箇所ある。
海に面した駐車場からは、大阪湾や関西国際空港が雄大に広がる。



■ 主要施設(3) 内海

◆ 特徴

- 内海は、外海と同様に潮の満ち引きが鑑賞できる施設であり、内海内に設置された24個の環状石は、その変化をよりはっきりと表現するものである。さらに、透水性護岸により、内海側に多自然生物棲息区域を創出している。







せんなん里海公園



公園のあらまし

【所在地】 泉南郡岬町淡輪地先

【開設面積】 32.1ヘクタール

【主要施設】 潮騒ビバレー、ビーチハウス、里海広場、風車の丘 等

【概要】 昭和47年に、海岸環境整備事業として人工砂浜・磯浜の整備に着手。青少年海洋センター、海水浴場、淡輪ヨットハーバーなどが整備された。平成2年に淡輪・箱作基本構想を策定し、「里海」をテーマとした府営公園として計画を立案し、平成5年に事業着手。主な施設として、観客席を有する常設ビーチバレーコート「潮騒ビバレー」や、海辺の生き物や海浜植物などを観察できる人工磯浜がある。

(特徴)海と人との新しいふれあいの場として、里海の自然、海洋性レクリエーションが楽しめる公園。



■ 主な施設



人工磯浜



潮騒ビバレー

イルカの遊戯場



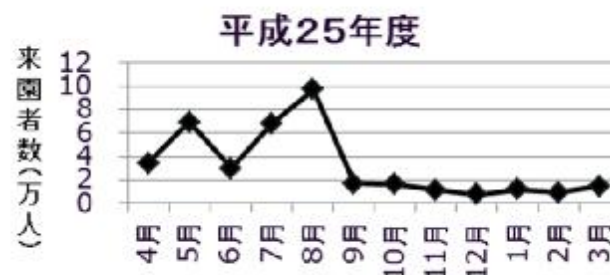
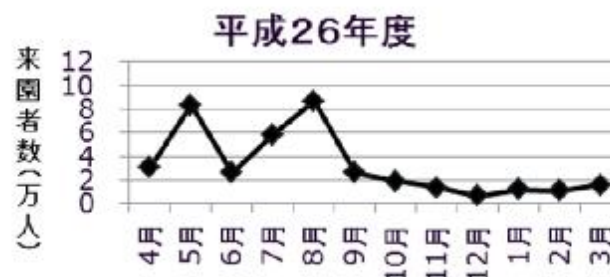
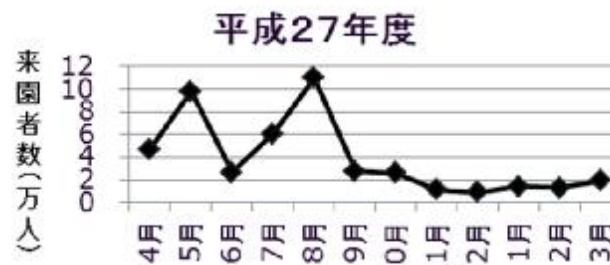
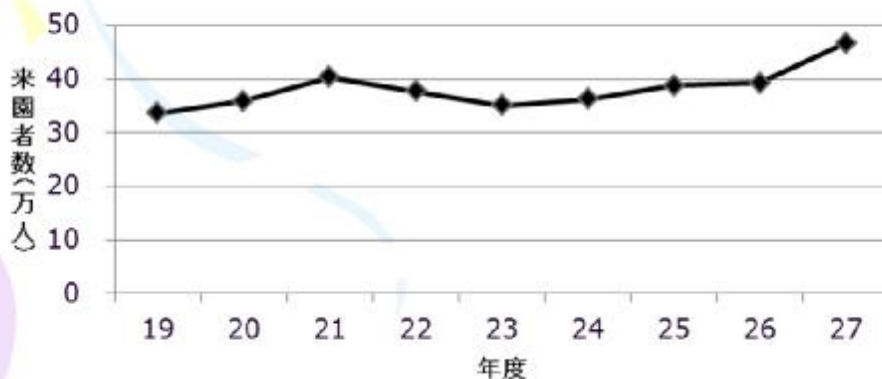
■ 周辺環境、地域特性

阪南市・岬町にまたがり、2つの海水浴場に隣接する公園。青少年海洋センターやヨットハーバーにも隣接しており、海洋性レジャーの拠点となっている。

■ 利用状況

年間約42万人(直近3ヶ年平均)が来園。このうち、約17万人は海水浴期の7・8月に訪れている。
人工磯浜やビーチバレー施設(潮騒ビバレー)など海洋性レジャーが通年楽しめる。

来園者数の推移
(せんなん里海公園)



■ 主要施設(1) 潮騒ビバレー

◆ 特徴

- ビーチバレー競技場としては珍しい、常設スタンドを有する「潮騒ビバレー」は、世界大会レベルの競技大会を開催することが可能な施設であるが、普段は地域のクラブ活動やビーチサッカーなどにも利用されている。



■ 主要施設(2) 人工磯浜

◆ 特徴

- 天然石の岩組で築いた堤防の内側に、砂浜や礫浜を主体とした自然海岸を整備している。

海洋生物をはじめ多様性のある自然環境を有しており、陸ガニの貴重な生育環境の一つともなっている。また、海辺の風景や四季を感じる事の出来る施設でもある。



イベントの様子



■ 主要施設(3) 自然海岸林

◆ 特徴

- 自然海岸林には陸ガニが生息しており、ボランティアとの協働による保全活動や、残された豊かな自然を体験できるイベント(観察会)等が行われている。

陸ガニの生息地



観察会の様子



陸ガニ、巣穴



